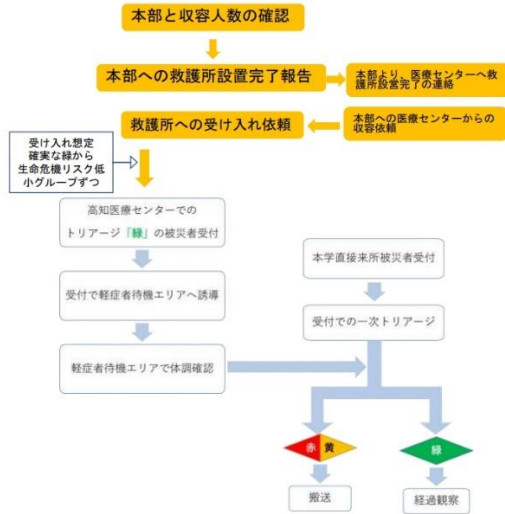


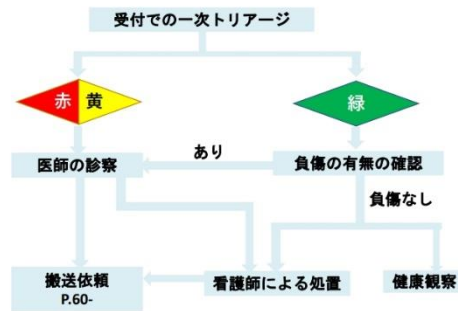
研究実施責任者	プロジェクト名	期間	配分額(円)
看護学部・助教 森本 紗磨美	救護所における円滑な活動を支援する 状況対応アルゴリズムの作成	R4	660,800
研究概要			
<p>本県では今後直面するであろう南海トラフ地震への対策として災害訓練の実施、各種マニュアルの整備が進んでいる。災害時の本学の役割は避難所及び救護所の設置、運営、軽症者の救護活動であり、本学危機管理基本マニュアルにも救護所の役割として軽症者や医療センターに来院した帰宅困難者の受け入れが挙げられている。しかし、災害下では混乱が生じ、軽症者への適切な対応や救護所運営に影響があることが想定される。したがって、本研究では、救護所に携わるスタッフが戸惑うことなく、発生した状況に対応ができるよう、「状況対応アルゴリズム」を作成する。「状況対応アルゴリズム」を活用することで救護所での円滑な対応、運営にすることができる。</p>			
研究概要			
<p>本学と高知医療センターとの合同災害訓練に参加したことのある医師、薬剤師、看護師6名を対象に、フォーカスグループディスカッションを実施し、本学救護所での災害訓練の課題や現状を明らかにした。次に、その内容を参考として抽出した、救護活動で対応に困るであろう5つの場面を想定して、対応時に参照するアルゴリズム案を作成した。</p> <p>作成したアルゴリズム案は、救護所アクションカードに収載し、令和4年度高知医療センターとの合同災害訓練時に参加した教員に使用してもらった。訓練終了後には、訓練に参加した教員5名を対象としたフォーカスグループインタビューを実施し、アルゴリズム案の課題を明らかにした。</p>			

成果物等

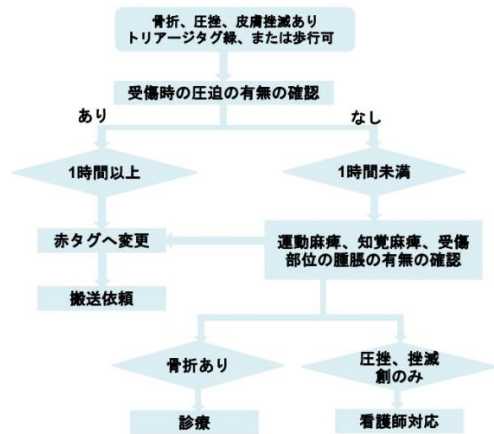
アルゴリズム No.1
全体の流れ：収容依頼



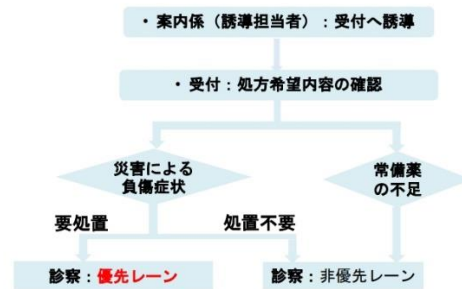
アルゴリズム No.2
医療処置が不要か必要かの選別 (救護受付)



アルゴリズム No.3
外傷者の対応
(その他の場合はアルゴリズムNo.2)



アルゴリズム No.4
薬処方希望の場合の対応



アルゴリズム No. 5 傷病者の状態悪化の場合

